

ABC

Asahi Broadcasting Corporation

第 84 期 事業のご報告

平成 22 年 4 月 1 日～平成 23 年 3 月 31 日

□ ごあいさつ	1
□ テレビ	3
□ ラジオ	5
□ その他事業	6

□ 連結財務諸表	9
□ 個別財務諸表	11
□ 会社データ	12

朝日放送株式会社
証券コード：9405

≡ ごあいさつ Message from the President

去る3月11日に発生いたしました東日本大震災で被災された地域の皆様に心よりお見舞い申し上げますとともに、被災地の一日も早い復旧・復興をお祈り申し上げます。

当社は、震災発生直後からの3日間に亘る緊急特別編成やその後の様々な番組を通じ、被災地の状況や被災者の思い、あるいは多くの方々の復旧への願いをお伝えしてまいりました。16年前の阪神・淡路大震災の経験を生かしながら、被災された地域や地元放送局への人的および物的支援を行う一方、さらには「ABC東日本大震災義援金」の呼びかけなどにも、当社グループをあげて積極的に取り組んでおります。今後も引き続き、復興支援に協力してまいりたいと考えます。

当連結会計年度の日本経済は、EU諸国の財政問題や円高の進行などの懸念材料がありながらも、政府の緊急経済対策の効果などを背景に個人消費が持ち直し、新興国経済の好調を受けて企業収益の改善が見られました。

このような経済環境のなか、当社グループで主力事業を展開する放送事業においては、テレビスポット収入が前連結会計年度の実績を上回るなどの要因で増収増益となり、震災の影響も当期収益面では限定的であったことから、全体としては一定の業績を残すことができました。

当連結会計年度における当社グループの売上高は766億9千1百万円で、前連結会計年度に比べ6億2千3百万円(0.8%)の増収となりました。また、営業利益は36億5百万円、経常利益は37億4千8百万円、当期純利益は24億3千8百万円となり、いずれも前期比で50%を上回る増益となりました。

地上波テレビでは、今年7月に本格的なデジタルの時代になります。当社グループも当期に60周年を迎えました。来年3月末までの期間を周年記念の年に位置づけ、記念番組・記念イベントをお届けする予定です。

第84回定時株主総会終了後に開催されました取締役会におきまして、代表取締役社長の渡辺克信が代表取締役会長に、専務取締役の脇阪聰史が代表取締役社長にそれぞれ就任いたしました。

これからもグループの総合力を高め、株主価値向上を図りながら、新体制によりポスト60周年の新たな一步を踏み出してまいりたいと考えます。株主の皆様には、なお一層のご支援、ご鞭撻賜りますようお願い申し上げます。

平成23年6月



代表取締役会長

渡辺 克信

代表取締役社長

脇阪 聰史

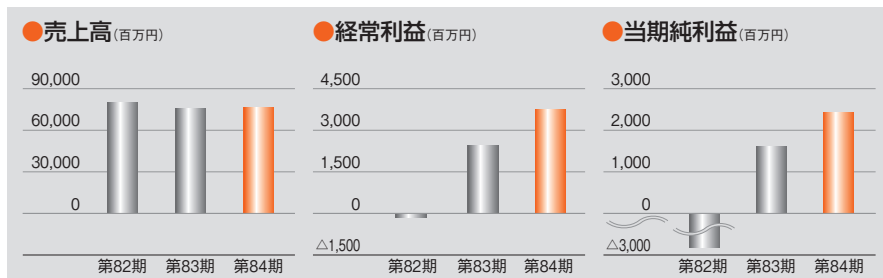
ハイライト

●第84期連結業績

売上高 **766億9千1百万円**

経常利益 **37億4千8百万円**

当期純利益 **24億3千8百万円**



当社グループの売上高は、前連結会計年度に比べ6億2千3百万円(0.8%)の増収、経常利益は13億2百万円(53.2%)の増益となりました。

また、固定資産の売却益などで特別利益4億7千万円を計上し、資産除去債務会計基準の適用に伴う影響などで特別損失6億6千9百万円を計上した結果、当期純利益は24億3千8百万円となり、8億2千4百万円(51.1%)の増益となりました。

セグメント

●セグメント別 売上高

放送事業 **675億1千9百万円**

ハウジング事業 **83億2千3百万円**

ゴルフ事業 **8億4千7百万円**

●放送事業

テレビスポット収入が前連結会計年度の実績を上回るなどの要因で、売上高は5億4千1百万円(0.8%)の増収となりました。3月の大震災のため、緊急特番の編成やCM休止などがあり、売上が減少し費用が増加しましたが、その影響は一部にとどまりました。

一方、営業費用は0.7%減少しましたので、営業利益は26億5百万円となり、10億9百万円(63.3%)の増益となりました。

●ハウジング事業

売上高は、前連結会計年度に比べ1億8百万円(1.3%)の増収となりました。ハウジング業界では、住宅ローン減税や住宅版エコポイントなどの政策効果もあり、平成22年度の新設住宅着工戸数は81万戸と2年ぶりに増加しました。当社グループでは、新規会場のオープンや既存会場の空き区画への新規出展誘致などに努めました。

●ゴルフ事業

売上高は、前連結会計年度に比べ2千6百万円(△3.0%)の減収となりました。積極的な顧客誘致などが実を結び、来場者数は増えましたが、積雪による閉場日の増加や大震災の影響があり、伸び悩みました。

●視聴率

当期の視聴率は、全日(午前6時～午前0時)が8.4%で2位、ゴールデン(午後7時～午後10時)が12.4%で2位、プライム(午後7時～午後11時)が13.5%で4年連続の首位、プライム2(午後11時～午前1時)が10.2%で9年連続首位を獲得し、各時間帯とも視聴者の皆様から安定した支持をいただきました。

●ネット番組

当社発のネット番組では、テレビ朝日と共同制作の金曜日夜9時ドラマ枠で、当期は4作品を放送し、1月クールに放送した「悪党～重犯罪捜査班」は全8話の平均視聴率が12.4%を記録しました。また、火曜日夜8時の「たけしの健康エンターテインメント!みんなの家庭の医学」は平均が10.0%、日曜日夜8時の「大改造!!劇的ビフォーアフターSEASONII」は14.0%と前期より1.1%アップし高い水準で推移しました。そのほか単発番組では、昨年12月に最終年を迎えた「M-1グランプリ」が23.4%、元日に放送した「芸能人格付けチェック!2011」が22.0%と高視聴率を記録しました。



「悪党～重犯罪捜査班」



毎週日曜 夜7時58分放送



王者は9年連続決勝進出の笑い飯

●ローカル番組

ローカル番組では、朝帯・深夜帯のベルト番組が引き続き好調で、視聴者の皆様から安定した支持を得ています。平均視聴率は、朝帯の「おはようコールABC(2部)」が5.0%、「おはよう朝日です」も10.4%と高視聴率を収めました。深夜帯の「ナイトinナイト」(月～木)は12.2%、金曜日深夜の「探偵!ナイトスクープ」は19.5%を記録し、全日での高視聴率に大きく貢献しています。

●スポーツ番組

スポーツ番組では、準決勝の韓国戦で34.2%、決勝では33.5%を記録したサッカーの「アジアカップ」やフィギュアスケートの「グランプリファイナル」など大型スポーツ番組が好調でした。また、高い人気を維持している阪神タイガース主催のナイター中継は13試合放送し、平均視聴率は14.0%と高い水準で推移しました。

●創立60周年記念番組



11月11日より当社は創立60周年記念期間に入り、11月23日には60周年特別番組を2本放送しました。午前の「関西2200万人が選ぶABC思い出の番組・名場面リクエストNo.1」は過去60年間に放送した番組の中から、たくさんのリクエストが寄せられた『もう一度見たい!ABCの番組・名場面』をプレイバックし、視聴率8.2%を記録。午後の「ABCお笑い60年史 てなもんやからM-1まで いま明かされる㊟伝説」は、当社の歴史を彩り関西を笑わせてきた伝説の名番組を、裏話や懐かしい映像を交えながら振り返り11.4%を記録しました。

今年度では、「告白」で2009年本屋大賞を受賞された湊かなえさん書き下ろし原作のスペシャルドラマの放送を予定しています。

●ABCこども未来プロジェクト

2007年から、いじめ・虐待など、こどもを巡る問題に正面から向き合い、こどもの未来について考えるキャンペーンを実施しています。

番組としては、レギュラーで放送しているミニベルト番組「がんばれ!元気ッズ」の他、建築家の安藤忠雄さん、サッカーの遠藤保仁選手、俳優の哀川翔さんを講師に、子どもたちに学校で教えてくれない大切なことを伝えてもらう特別番組「人生の教科書」を9月23日に放送しました。

そのほかコンクール関係では、当期の日本民間放送連盟賞の「放送と公共性部門」において「追求!終わらない年金問題」が、「技術部門」において「ローコストARバーチャルシステムの構築」がそれぞれ優秀賞を受賞しました。

●平成23年4月編成

4月から、金曜日夜9時ドラマ枠を5年ぶりにバラエティー枠に改編し、「Oh! どや顔サミット」がスタートしました。

MCに浜田雅功、西村雅彦、片瀬那奈を迎えて、2010年の新語・流行語大賞にもノミネートされた「どや顔」をキーワードに据えた、新しい世界観のバラエティーです。人があつと驚く知識や隠れエピソード、特技など、さまざまなジャンルの「どや情報」を、各界から集まった多彩なゲスト陣が満面の「どや顔」をキメながら披露し、爆笑トークを展開しています。



毎週金曜夜9時 放送

※視聴率は関西地区、ビデオリサーチ調べ



関西2200万人が選ぶ
ABC思い出の番組・名場面リクエストNo.1



ABCお笑い60年史
てなもんやからM-1まで いま明かされる㊟伝説



ABCこども未来プロジェクト
「人生の教科書」

当期の聴取率は、週平均が前期の12月度からは若干の伸びを見せ、年4回実施される関西圏のラジオ聴取率調査において、4月度、6月度は1.3%、10月度、12月度は1.2%と安定した数字を保っています。平日平均では、前期12月度が1.2%だったのに対して、当期は1.4%前後で推移しています。

昨年4月には平日ワイド番組を3時間ごとの編成にするなどの大きな改編を行い強化を図りました。10月には早朝の「おはようパートナー」にFM局で多くの経験を持つ慶元まさ美を起用、爽やかな新風を吹き込んだことで好評を得ています。

創立60周年記念期間のスタートである11月11日に「みんなで60周年ABCラジオ」を、11月13日には「みんなでGO!GO!60周年」と記念特別番組を2本放送しました。古い番組の音源を紹介したり、懐かしい番組を再現したり、さらにリバーデッキでの公開生放送なども交え、周年の幕開けにふさわしい特別番組となりました。



月～金曜 午前5時～6時半

また、創立60周年記念として制作した「ABCラジオカレンダー2011～思い出の写真館」は、パーソナリティの現在の写真とともに、過去の懐かしい写真も掲載するという企画で、15,000本を超える売り上げを記録しました。さらに、3月に発売を開始した「ABCラジオCDブック～いつもラジオと一緒に」は、公募の歌詞にキダ・タロー氏が作曲したABCラジオの新テーマソング「ハッピーソング・ハッピーボイス」や懐かしい音源、テーマ曲などが収録されたCDとABCラジオの今と昔がわかるオールカラー132頁の本がセットになったもので、発売から2週間で1万部を超えるヒットとなっています。



11/11放送
「みんなで60周年ABCラジオ」
公開生放送は約1000人の
リスナーで大盛況





パソコンなどでラジオが聞けるradikoが、これまでの試験放送から12月に株式会社radikoとなって本放送を開始しました。当社では試験放送時よりradikoメディアセンターを設け、全国のラジオ局の送出を担っています。

そのほかコンクール関係では、当期の日本民間放送連盟賞の「CM部門」において当社制作のラジオCMが、優秀賞を受賞しました。

●平成23年春からの編成

平成23年4月より、「おはようパーソナリティ道上洋三です」で、新アシスタントが誕生しました。一般公募し、10代目アシスタントに選ばれたのは、中学生の頃から「おはパソ」のアシスタントになるのが夢だったという20歳の現役大学生、久野 愛。番組開始35年目に入り、新コンビでますます素敵な朝をお届けしています。

午後3時からの「武田和歌子のぴたっと。」には、産休のため番組を休んでいた武田アナが復帰。さらにパワーアップして、夕方の憩いのひとときを演出しています。

今年4月実施の関西圏ラジオ聴取率調査において、ABCラジオは全ての在阪AM・FM局の中で、全日平均・平日平均で聴取率・シェアともに単独トップとなりました。

おはよう
パーソナリティ
道上洋三です



月～金曜 午前6時半～9時

武田和歌子の
ぴたっと。



月～金曜 午後3時～5時

●イベント事業

当期の事業部門は、催物やコンテンツ関連の増収を目指し、積極的に各事業を展開しました。

事業イベントでは、昨年12月から今年3月にかけて、大沢たかお「ファントム」、小栗旬「時計じかけのオレンジ」、向井理「ザ・シェイプ・オブ・シングス」が、どのチケットも即日完売で大盛況となりました。プリキュア関連では、歴代のプリキュア戦士と歌手が集い、オーケストラと競演したスペシャルコンサートが大成功を収め、また秋に行われた新規イベント「Tea&Sweets」は、4日間で2万9千人を集めて盛況に終わりました。

スポーツイベントでは、秋に「マイナビABCチャンピオンシップゴルフトーナメント」を開催しました。台風接近の影響でギャラリーの数は前回より減りましたが、石川遼選手の活躍で今回も大いに沸きました。ABCホールの稼働率も堅調に推移し、いまや小演劇界を支える劇場として、関西・関東の劇団から絶大な支持を受けています。



小栗旬 主演「時計じかけのオレンジ」



大沢たかお 主演「ファントム」

出資映画では、「孤高のメス」、「相棒II」、「ソラニン」、「漫才ギャング」、「君が踊る、夏」、「十三人の刺客」、アニメ「プリキュア」シリーズなど、良質な作品に出資し好評を博しています。

●シンフォニーホール

クラシック音楽関係では、朝日新聞社との共催で、ゲルギエフ指揮のロンドン交響楽団の来日公演が大変注目を集めました。また、創立60周年記念事業としては、「佐渡裕指揮21世紀の第九全5公演」と「佐渡裕指揮BBCフィルハーモニックwith辻井伸行」の2公演を開催し大好評を博しました。

また、恒例の「道上洋三の春休みファミリー・コンサート」では、ABCラジオ「ザ・シンフォニーホール・アワー」の桂米團治&角野啓子をゲストに、おべらくご「フィガロの結婚」を上演、客席を大いに沸かせました。



「道上洋三の春休みファミリー・コンサート」



「佐渡裕指揮BBCフィルハーモニック
with辻井伸行」

●コンテンツ事業

番組の二次利用では、「探偵!ナイトスクープ」、「熱闘甲子園」、「M-1グランプリ」などのDVDセールスも好成績を収めたほか、昨年12月より「上沼恵美子のおしゃべりクッキング」の月刊テキスト本を発売し、安定的な著作権収入源になりつつあります。

このほか、「クイズ!紳助くん」や「探偵!ナイトスクープ」の番組の動画配信をスタートさせ好評を得ております。

有料携帯サイトは、豊富な番組コンテンツを背景に会員数が前年度比(3月末現在)で18%増加しました。

また、地上デジタル放送におけるデータ放送に新たなサービスとして「dポチか(デポチカ)」を始めました。このサービスでは、独自にお買い得情報やグルメ・旅情報などをデータ放送上で展開すると同時に、新規の広告ツールとして掲載希望企業に1日単位で販売し、新たな広告収入を目指しています。



「上沼恵美子のおしゃべりクッキング」
月刊テキスト本



DVDセールスも好調



この度の東日本大震災におきましては、当社では、視聴者の皆様に正しい情報を伝え、被災地ができるだけ早く復興に向かえるよう真摯に報道するとともに、被災した自治体への義援金の拠出や、被災地へ物資をお送りするなどの物的支援と、相当数の人的支援を行いました。加えてテレビ・ラジオの番組などを通じて「ABC東日本大震災義援金」への募金呼びかけを行いました。

今後も、イベント等を通じて被災地の皆様への支援を続けて参ります。

■放送対応

テレビでは、3月11日の地震発生直後から13日深夜まで、CMなしの「ANN緊急報道特番」を組み、ほぼ全ての時間帯で震災関連の報道を続けました。14日からは、レギュラー番組の中で、阪神・淡路大震災を経験したエリア局として、「今、自分たちにできること」を考えながら放送しています。

また、震災発生当初より、ANN系列の取材応援として、当社の記者、ディレクター、カメラクルーなど延べ174名（平成23年5月末現在）が、現地で取材活動を行っています。ローカル番組のみならず、「報道ステーション」などのネット番組で情報を発信するなど、系列報道においても、重要な役割を担っています。

ラジオでは、震災情報や報道特別番組を放送したほか、radikoのエリア制限が一時解除されたのを受け、被災地の方々に向けて、ABCラジオの出演者やリスナーの皆さんの声を20秒のスポットにして放送する「この思いを届けたい」キャンペーンを展開しました。



■被災地支援の取り組み

当社では、岩手県・宮城県・福島県の3県に対し、総額5,000万円相当の義援金および支援物資をお送り致しました。そして、3月14日より4月末まで、番組やイベントを通じての呼びかけのほか、アナウンサーが街頭で直接呼びかけるなどして、被災者救援のための「ABC東日本大震災義援金」を募りました。その額は4月末までに9,065万2,627円にのぼり、この義援金は、岩手県・宮城県・福島県・日本赤十字社にお贈りました。皆様のあたたかいご支援に、心より御礼申し上げます。

連結貸借対照表

(单位:百万円)

科目	当 期 平成23年3月31日現在	前 期 平成22年3月31日現在	科目	当 期 平成23年3月31日現在	前 期 平成22年3月31日現在
(資産の部)			(負債の部)		
流動資産	28,972	27,962	流動負債	9,726	12,492
現金及び預金	7,906	7,526	短期借入金	—	200
受取手形及び売掛金	11,887	11,732	1年内返済予定の長期借入金	20	2,030
有価証券	5,839	5,479	リース債務	914	867
たな卸資産	1,199	1,374	未払金	5,323	5,790
短期貸付金	11	17	未払費用	1,321	1,311
繰延税金資産	618	578	未払法人税等	676	290
その他の流動資産	1,559	1,275	役員賞与引当金	61	9
貸倒引当金	△ 51	△ 22	設備等支払手形	34	12
固定資産	64,167	66,958	その他の流動負債	1,373	1,981
有形固定資産	44,245	46,406	固定負債	27,138	27,728
建物及び構築物	23,293	24,115	長期借入金	2,010	2,030
機械装置及び運搬具	4,268	4,911	リース債務	4,862	5,642
工具器具及び備品	505	635	退職給付引当金	10,946	10,777
土地	10,718	10,568	固定資産撤去損失引当金	192	—
リース資産	5,338	6,068	廃棄物処理損失引当金	45	45
建設仮勘定	122	107	負ののれん	173	345
無形固定資産	1,342	1,629	預り保証金	8,012	8,452
のれん	66	99	その他の固定負債	896	435
ソフトウェア	970	1,322	負債合計	36,865	40,220
その他の無形固定資産	304	207	(純資産の部)		
投資その他の資産	18,579	18,922	株主資本	52,651	51,128
投資有価証券	10,994	11,281	資本金	5,299	5,299
長期貸付金	39	61	資本剰余金	3,610	3,610
長期前払費用	1,359	1,468	利益剰余金	44,242	42,218
繰延税金資産	4,682	4,509	自己株式	△ 500	△ 0
その他の投資	1,528	1,623	その他の包括利益累計額	428	700
貸倒引当金	△ 24	△ 22	その他有価証券評価差額金	428	700
資産合計	93,139	94,921	少数株主持分	3,193	2,872
			純資産合計	56,273	54,700
			負債・純資産合計	93,139	94,921

(注)金額は、百万円未満を切捨表示しております。

連結財務諸表 Consolidated Financial Statements

連結損益計算書

(単位:百万円)

科目	当 期 平成22年4月 1 日から 平成23年3月31日まで	前 期 平成21年4月 1 日から 平成22年3月31日まで
売上高	76,691	76,068
売上原価	50,127	51,102
売上総利益	26,563	24,965
販売費及び一般管理費	22,957	22,645
営業利益	3,605	2,320
営業外収益	406	397
営業外費用	263	271
経常利益	3,748	2,446
特別利益	470	615
特別損失	669	193
税金等調整前当期純利益	3,550	2,867
法人税、住民税及び事業税	856	422
法人税等還付税額	—	△ 27
法人税等調整額	89	693
少数株主損益調整前当期純利益	2,605	—
少数株主利益	166	165
当期純利益	2,438	1,613

(注)金額は、百万円未満を切捨表示しております。

連結株主資本等変動計算書

当 期(平成22年4月1日から平成23年3月31日まで)

(単位:百万円)

	株主資本					その他の包括利益累計額		少数株主 持 分	純資産 合 計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本 合 計	その他有価証券 評 価 差 額 金	その他の包括利益 累 計 額 合 計		
平成22年3月31日残高	5,299	3,610	42,218	△ 0	51,128	700	700	2,872	54,700
連結会計年度中の変動額									
剰余金の配当			△ 414		△ 414				△ 414
当期純利益			2,438		2,438				2,438
自己株式の取得				△ 500	△ 500				△ 500
株主資本以外の項目の連結 会計年度中の変動額(純額)						△ 271	△ 271	321	49
連結会計年度中の変動額合計	—	—	2,023	△ 500	1,523	△ 271	△ 271	321	1,573
平成23年3月31日残高	5,299	3,610	44,242	△ 500	52,651	428	428	3,193	56,273

(注)金額は、百万円未満を切捨表示しております。

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科目	当 期 平成22年4月 1 日から 平成23年3月31日まで	前 期 平成21年4月 1 日から 平成22年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,823	7,626
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,796	△ 2,742
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 3,998	△ 2,936
現金及び現金同等物の増減額	28	1,947
現金及び現金同等物の期首残高	12,666	10,718
現金及び現金同等物の期末残高	12,695	12,666

(注)金額は、百万円未満を切捨表示しております。

個別財務諸表 Non-Consolidated Financial Statements

貸借対照表

(単位:百万円)

科目	当 期	前 期
	平成23年3月31日現在	平成22年3月31日現在
(資産の部)		
流動資産	23,807	23,738
固定資産	52,193	55,291
有形固定資産	33,146	35,459
無形固定資産	1,250	1,498
投資その他の資産	17,796	18,332
資産合計	76,001	79,029
(負債の部)		
流動負債	7,988	11,025
固定負債	17,766	18,402
負債合計	25,754	29,428
(純資産の部)		
株主資本	49,820	48,905
資本金	5,299	5,299
資本剰余金	3,610	3,610
利益剰余金	41,410	39,995
自己株式	△ 500	△ 0
評価・換算差額等	426	696
その他有価証券評価差額金	426	696
純資産合計	50,247	49,601
負債・純資産合計	76,001	79,029

(注)金額は、百万円未満を切捨表示しております。

損益計算書

(単位:百万円)

科目	当 期	前 期
	平成22年4月 1 日から 平成23年3月31日まで	平成21年4月 1 日から 平成22年3月31日まで
売上高	63,512	64,151
売上原価	40,529	42,327
売上総利益	22,982	21,823
販売費及び一般管理費	20,675	20,423
営業利益	2,307	1,399
営業外収益	242	224
営業外費用	261	259
経常利益	2,288	1,363
特別利益	454	588
特別損失	318	31
税引前当期純利益	2,425	1,920
法人税、住民税及び事業税	318	12
法人税等調整額	276	797
当期純利益	1,830	1,111

(注)金額は、百万円未満を切捨表示しております。

株主資本等変動計算書

当 期 (平成22年4月1日から平成23年3月31日まで)

(単位:百万円)

	株主資本											評価・換算差額等		純資産 合 計
	資本金	資本剰余金			利 益 準 備 金	利益剰余金				自 己 株 式	株 主 資 本 合 計	そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金	評 価 ・ 換 算 差 額 等 合 計	
		資 本 準 備 金	そ の 他 資 本 剰 余 金	資 本 剰 余 金 合 計		その他利益剰余金			利 益 剰 余 金 合 計					
						固 定 資 産 圧 縮 積 立 金	別 途 積 立 金	繰 越 利 益 剰 余 金						
平成22年3月31日残高	5,299	3,515	95	3,610	450	105	37,400	2,040	39,995	△ 0	48,905	696	696	49,601
事業年度中の変動額														
剰余金の配当								△ 414	△ 414		△ 414			△ 414
当期純利益								1,830	1,830		1,830			1,830
自己株式の取得										△ 500	△ 500			△ 500
株主資本以外の項目の 事業年度中の変動額(純額)												△ 269	△ 269	△ 269
事業年度中の変動額合計	—	—	—	—	—	—	—	1,415	1,415	△ 500	915	△ 269	△ 269	645
平成23年3月31日残高	5,299	3,515	95	3,610	450	105	37,400	3,455	41,410	△ 500	49,820	426	426	50,247

(注)金額は、百万円未満を切捨表示しております。

会社の概況 (平成23年3月31日現在)

会社名	朝日放送株式会社 Asahi Broadcasting Corporation
創立	昭和26年3月15日
資本金	52億9,980万円
従業員数	643名
事業内容	放送法によるテレビ放送事業 およびラジオ放送事業 他
本社	〒553-8503 大阪市福島区福島一丁目1番30号 Tel.(06)6458-5321(代表)

役員 (平成23年6月28日現在)

代表取締役会長	渡辺 克信	取締役	川村 恒雄
代表取締役社長	脇阪 聡史	取締役	大塚 義文
代表取締役専務取締役	和田 省一	取締役	沖中 進
常務取締役	田仲 拓二	取締役	山本 晋也
常務取締役	古川 賢三	常勤監査役	木下 栄一
取締役	脇 英太郎	常勤監査役	山本 良生
取締役	山口 昌紀	監査役	白賀 洋平
取締役	坂井 信也	監査役	橋本 宗利
取締役	早河 洋	監査役	野村 正朗
取締役	横井 正彦		
取締役	尾崎 裕		

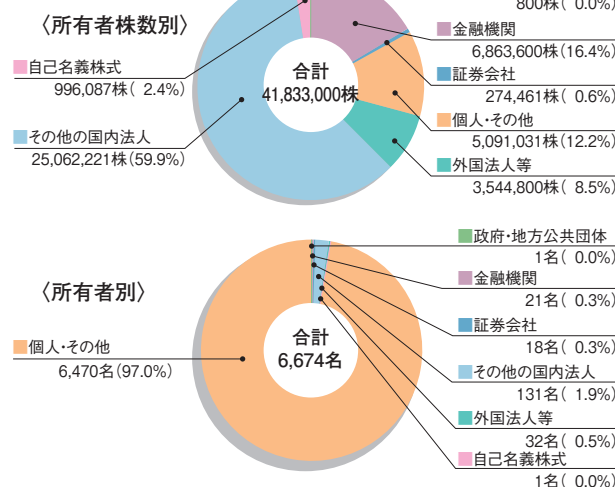
株式の概況 (平成23年3月31日現在)

●発行可能株式総数	144,000,000株
●発行済株式総数	41,833,000株
●株主数	6,674名
●大株主	

株主名	所有株式数	議決権比率
株式会社朝日新聞社	6,224,900 株	15.2 %
株式会社テレビ朝日	3,877,600	9.5
公益財団法人香雪美術館	2,930,000	7.2
学校法人帝京大学	1,554,000	3.8
朝日新聞信用組合	1,500,000	3.7
日本生命保険相互会社	1,256,500	3.1
大阪瓦斯株式会社	1,065,000	2.6
NORTHERN TRUST CO.(AVFC) RE NORTHERN TRUST (GUERNSEY) LIMITED - POLAR CAPITAL FUNDS PLC	1,000,000	2.4
近鉄バス株式会社	800,000	2.0
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY	794,900	1.9

(注) 平成22年7月1日付で、普通株式1株を10株に分割し、単元株式数を10株から100株に変更しております。

●株式分布状況



出前授業

えびちゃん
ABCChan 教室

開校

当社では2007年から、子どもの未来について考えるキャンペーン「ABCこども未来プロジェクト」を展開しています。

その一環として、現場の第一線で働くディレクターや記者をはじめ、経験豊富な放送のプロが講師として小学校に出向き、「放送局のしくみ」や「ニュースや番組ができるまで」などをテーマに、実際の放送機器を活用して行う出前授業をスタートさせました。

なかでも、子どもたちに人気なのが、ニュース番組作りの体験。実際の放送で使ったニュース原稿やVTRを使って、フロアディレクター、カメラマン、アナウンサー、スイッチャーなどの役に分かれて、ニュースの擬似放送をするものです。



授業を受けた児童からは、「ニュースができるまでにたくさんの人が関わっていることを知った」、「ニュースの体験は緊張したけど、終わったらホッとしました。テレビでニュースを読んでいる人も同じ気持ちなのかなと思いました」などの感想が寄せられています。

この「ABCChan教室」を通じて、未来を担う子どもたちがニュースや情報の伝え方や受け止め方について理解を深め、さらには、子どもたちと一緒に、これからの「テレビやラジオの放送」について考えていけたらと願っています。



2011年7月24日 地デジ移行（東北3県を除く）

7月24日、アナログテレビ放送は終了し、見られなくなります。（岩手、宮城、福島）の東北3県を除く）

地デジの準備をお早めをお願いします！



地デジについてのお問合せ先

総務省テレビ受信者支援センター（デジサポ）

<http://digisuppo.jp/>

電話番号

0570-07-0101

受付時間

平日午前9時～午後9時、
土・日・祝日午前9時～午後6時

※IP電話など、ナビダイヤルがつかない場合は、03-4334-1111までお願いします。



■ TVプログラム TV program

■ ネット番組



たけしの健康エンターテインメント! みんなの家庭の医学
毎週火曜 午後8時～8時54分放送



Oh! どや顔サミット
毎週金曜 午後9時～9時54分放送

■ ローカル番組



おはよう朝日です
毎週月曜～金曜 午前6時45分～8時放送



NEWSゆう+
毎週月曜～金曜 午後4時50分～6時54分放送

株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 毎年6月中

基準日 定時株主総会 毎年3月31日
期末配当金 毎年3月31日
中間配当金 毎年9月30日

株主名簿管理人および
特別口座の口座管理機関 大阪市中央区北浜四丁目5番33号
住友信託銀行株式会社

株主名簿管理人
事務取扱場所 大阪市中央区北浜四丁目5番33号
住友信託銀行株式会社 証券代行部

(郵便物送付先) 〒183-8701
東京都府中市日鋼町1番10
住友信託銀行株式会社 証券代行部

(電話照会先) 0120-176-417

(ホームページURL) <http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/retail/service/daiko/index.html>

公告の方法 当社のホームページに掲載する。
<<http://asahi.co.jp>>

<http://asahi.co.jp>

当社のホームページもご覧ください。

朝日放送株式会社

〒553-8503 大阪市福島区福島一丁目1番30号
TEL 06-6458-5321 (代表)



この事業のご報告は、環境に配慮し、
植物油をしようしております。